

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名： 山形県米沢市

上位関連計画にみる地域の将来

- 地球温暖化対策推進法や政府の目標：2013年度比で2030年までに46%削減、2050年までにカーボンニュートラル達成
- 第5次エネルギー基本計画における、2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率：22～24%、2030年に実現を目指す実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量/実質GDP）35%減。
- 現在の人口：79,369人(2023年1月1日現在)、将来：72,719人（2030年）、57,720人（2045年）（日本の地域別将来推計人口（平成30年推計））
- 米沢市まちづくり総合計画後期基本計画に示された将来目標（施策4-5 環境にやさしいまちづくりの推進）
ごみの総排出量 現状：27,042t(2019年)→目標：25,000t（2025年）
公害苦情件数 現状：78件(2019年)→目標：2019年比10%減（2025年）
- 第3期米沢市環境基本計画の将来目標
地域森林資源の利用材積 現状：10m³（平成26年度）→目標：200m³（10年後）
市域の温室効果ガス削減率（平成2年度比） 現状：14.8%増（平成24年度）→目標：20%減（10年後）

②具体的な取組

※誰が何をするのか、主なものをお書きください。

本市は、令和3年に内閣府「SDGs未来都市」の選定を受け、「米沢市SDGs未来都市計画」を策定した。

市民・地域・事業者・行政が一体となって、ゼロカーボンに向けた活動や環境保全意識の普及・啓発等に取組み、持続可能な社会を実現するため、地理的条件、歴史的背景、産業構造、地域資源等の特性を活用した環境を軸とし、人口流出を防ぐ取組に加えて、交流人口や関係人口の増加に結び付ける。

③短期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2023年度末)	実績値 (2023年度末)	単位
環境	ゼロカーボンシティ実現	温室効果ガス排出量 目標値：米沢市地球温暖化対策実行計画(区域対策編)に基づく目標。 短期目標:2023年。今後見直し予定	757	721		千t-CO2
経済	産業振興	製造業付加価値額	1,465	1,600		億円
	産業振興	創業支援当事業計画に基づく創業者数	52	96		人
	産業振興	市内企業と山形大学工学部教員の共同研究・委託研究数（現状地：2016～2019平均）	19.5	20		件
	産業振興	YBSCによる事業化数	11	41		件
	米沢ブランド戦略推進	TEAM NEXT YONEZAWA登録件数	159	280		件
社会	健康長寿日本一推進	市民の健康寿命(男性)	78.99	79.76		歳
	健康長寿日本一推進	市民の健康寿命(女性)	83.67	84.44		歳

①ありたい未来

※どのような地域にしたいのか、何を引き継いでいきたいのかなど、具体的にお書きください

→ 【米沢市SDGs未来都市計画】2030年のあるべき姿

今後、人口減少と高齢化と地域経済縮小との悪循環が懸念される中、郷土の先人である上杉鷹山公の教えに立ち返り、「なせばなる なさねばならぬ何事も ならぬは人のなさぬなりけり」の精神で、持続可能な社会を実現するため、米沢らしい特性を活かした3つの方向性のあるべき姿として掲げます。

- ①鷹山公が根付かせた「ものづくりマインド」が市内経済をけん引するまち
- ②「現代の藩政改革」による健康長寿日本一のまち
- ③「草木塔」などの本市独自の精神文化を基軸にSDGsを実装する環境教育先進都市

【地域循環共生圏におけるありたい地域の未来】

「なせばなる 上杉鷹山流のローカルSDGsの実現」

- ・畜産農家から排出される家畜排せつ物を資源として活用しバイオガス発電を行う。さらに消化ガス生成の際の副産物となるたい肥の適正管理、野菜農家での活用により、地域内での循環が見えるプレミアム野菜の生産、販売、ジェラート事業などの6次産業化を目指す

④長期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2023年度末)	目標年度 2030-2050年度	目標値	単位
環境	ゼロカーボンシティ実現	温室効果ガス排出量 目標値：米沢市地球温暖化対策実行計画(区域対策編)に基づく目標。 短期目標:2023年。今後見直し予定	757	721	2,030	681	千t-CO2
経済	産業振興	製造業付加価値額	1,465	1,600	2030	1,800	億円
	米沢ブランド戦略推進	TEAM NEXT YONEZAWA登録件数	159	280	2030	400	件
社会	健康長寿日本一推進	市民の健康寿命(男性)	78.99	79.76	2030	80.53	歳
	健康長寿日本一推進	市民の健康寿命(女性)	83.67	84.44	2030	85.21	歳
		市民の暮らしの満足度(幸福度)	5.84	5.88	2030	6.00	1-10(10段階評価)

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

・本市が将来の望ましい環境像として掲げる「豊かな自然に抱かれ人と環境にやさしく快適で美しいまち」の実現のため、また、かけがえのない故郷を未来の世代につないでいくため、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、本市独自の歴史・文化資源等を活用した環境教育を推進することに加え、再生可能エネルギーの導入拡大、森林等の吸収源対策等実現に向けた取組を進めることで脱炭素・循環型社会の構築を目指す。

・人口減少が進む中であっても持続可能な地域づくりを進めるため、市内企業間の連携や市内企業と大学との連携を推進することで付加価値率の向上を目指し、産業の活性化や新産業の創出による雇用の拡大を図る。また、本市全体の付加価値化を目指す米沢ブランド戦略を推進するために、本市のブランディングに賛同し、米沢品質向上運動に参加するプレイヤーである TEAM NEXT YONEZAWA の登録件数を増加させる。

・超高齢化社会が進展する中、健康寿命を延伸することは、地域の担い手たる元気な高齢者の活躍につながり、地域の活性化に寄与するものである。また、高齢者を含めた全ての市民が、健康で明るく元気に活躍し続けることができれば、市民全体の暮らしの満足度につながるものと考えられる。

※環境・経済・社会がどのように関係し合い、相互に高まっていくのか具体的にお書きください